



特別増資 500250 生協子ども基金 500252 にて毎週受け付けています、ご協力の程宜しくお願い致します。

COOP JOSO NEWS LETTER 2018 6-2

2018. 5. 28

facebook やって
います!

COOP JOSO News Letter

常総生活協同組合
発行 / 生協広報G



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

6/9 (土) の総代会終了後は、

鈴木牧場牛乳完成お披露目会 & エリア別組合員交流会開催します。

総代さんではない組合員さんも是非ご参加ください。

第 45 回通常総代会開催場所
取手ウェルネスプラザ・ウェルネスパーク
(多目的ホール)
〒 302-0024 茨城県取手市新町 2-5-25

【当日スケジュール】

- 10 : 00 ~ 13 : 00 総代会
- 13 : 20 (予定) 鈴木牧場牛乳完成お披露目会
※昼食をいただきながら開催します。
- 13 : 50 ~ 15 : 00 エリア別組合員交流会
テーマ【各地区でゆるカフェを開催しよう!】

会場 & 駐車場所



駐車場は台数が少ないため、公共交通機関のご利用をお願い致します。あわせて、周辺の民間駐車場のご利用をお願い致します。

- ・ 第1駐車場 20台 ★ここは料金上限がないため、料金が高くなります。駐車しないようにお願いします。
- ・ 第2駐車場 22台 1日最大 600円(入庫から24時間まで)
- ・ 第3駐車場 20台 1日最大 900円(入庫から24時間まで)

2018 年 6 月の予定

●生協基幹運営 / 地域活動・催し●

【定期開催の催事】

- ・ 6月ゴンタの丘「常総っこ応援団」は日程調整中。
- ・ 毎月第1土曜日に青空マルシェを開催しています。

- 6/5 (火) 私たちのくらしと憲法
- 6/9 (土) 第45回常総生協通常総代会
- 6/11 (月) 脱原発とくらし見直し委員会
- 6/15 (金) 歴史を学ぼう - 未来のために

●提携・協同・連帯企画●

- 6/1 (金) 鈴木牧場牛乳プラント工房完成式
GMOフリーゾーン全国集会実行委員会
- 6/2 (土) わんぱく・じょうそう合同会社総会
どきどきファーム牛久出店
- 6/15 (金) 日本生協連合総会
- 6/16 (土) どきどきファーム牛久出店
- 6/17 (日) 新しい風さとやま田植え
- 6/16-17 (土、日) 那須塩原検診
- 6/23-24 (土、日) 三郷検診
- 6/24 (日) 我孫子元気フェスタ出店
- 6/21 (木) 茨城県生協連合総会
千葉県生協連合総会
- 5/27 (日) 甲状腺検診 (日立)

商品情報

長年の夢がついに実現！！『岩瀬さんの豚モツ』企画がスタートします。

○今週配布の6月2回特別注文にて、新商品「岩瀬さんの豚モツ」の企画が数量限定でスタートします！

常総生協のイチオシ商品である岩瀬さんの豚肉。毎週のカatalogueでご利用いただいておりますが、生き物の命を頂くという観点から、お肉だけでなく背脂や内臓まで含め岩瀬さんの豚を余すところなく消費したいと思えます。

これまで常総生協でも岩瀬さんの豚の内臓を商品化したいと長年要望してきましたが、実際にお届けする事ができませんでした。ですが、この間の協同の取り組みの結果、岩瀬牧場はもちろん加工をお願いするミートパル村山さんの協力もあり、長年の要望が叶い遂に商品として皆さんにお届けすることができるようになりました。今回企画する「モツ」は豚1頭から約3kg程度しか取れないため、まずは数量限定・冷凍でのお届けとなります。今後、組合員の皆さんからの要望を多く頂ければ、仕組みを整えて冷蔵でのお届けも検討していきたいと思えます。

今回、「岩瀬さんの豚モツ」商品化に当たり改めて岩瀬牧場の取り組みについて皆さんにお知らせします。

■「岩瀬さんの豚」

岩瀬牧場の豚の品種は一般市場で主流となっている豚の品種（LWD）ではなく、複数の品種を掛け合わせたオリジナル品種の豚を開発し、そのお肉を「岩瀬さんの豚」として組合員の皆さんにお届けしています。このオリジナル品種の豚を作り出すため、先代の岩瀬宏さんは様々な品種の交配を試し長年の試行錯誤の結果、現在の岩瀬さんの豚にたどり着きました。また豚に与える飼料に関しても、地域の食物残渣を活用し、加熱・発酵処理を施した自前の発酵飼料をずっと継続して続けています。この養豚のスタイルは正に地域に根差した「循環型養豚」と言えます。

■常総生協と岩瀬牧場～生産と消費の関係から協同の取り組みへ～

生協で岩瀬さんの豚肉の実験供給がスタートしたのは1995年の9月、それから20年以上に渡りこだわりの豚肉をずっと届けて来ています。2015年、先代の岩瀬宏さんが体調を崩した事もあり、貴重な豚肉をこれからも残してゆきたいと生協から職員が出向し、協同の取り組みに向けた関係作りが始まりました。その後、複数の職員が現場に出向し生産現場の環境整備を行い、生協から岩瀬牧場へ贈った原種の豚から新しい母豚を作り出す作業を進めていきました。そして、

2017年4月に安定出荷と生産規模拡大も踏まえた将来を見据え、常総生協の子会社「わんぱく・じょうそう」の養豚部門として正式に協同での事業がスタートしました。現在は4代目出向職員となる伊原が牧場スタッフと一緒に安定生産に向けた取り組みを継続しています。

■母豚の更新～これまでの歩み～

現在、岩瀬牧場で進めている母豚の更新作業は、生産体制を安定させるため古い（出産回数が多い）母豚との入れ替えを目的に2015年に生協から贈った原種の豚を掛け合わせる所からスタートしました。まずは第一段階の豚を生産し、そこから交配を重ねながらこれまでの約3年間新しい母豚の生産に取り組んできました。新しく母豚を作るという作業は大変なのはもちろんですが、手間も時間もかかる根気のいる作業です。生まれた子豚が万が一死んでしまえば、また新たに交配を行い出産させる事となり、それだけで半年以上時間が余計にかかってしまいます。その為、生まれた子豚の管理など現場では常に神経を張り巡らせ、生まれた子豚が順調に生育するよう大切に育ててきました。

そして、今年に入り完成型の岩瀬さんの豚肉の母豚となる豚たちがやっと出産を迎え、新しく作った岩瀬さんの豚肉を年内には組合員の皆さんにお届けできる段階まで作業が進みました。



豚は生まれてから種付け（母豚として交配ができる）までに約1年ほど期間がかかります。これまで取り組んできた母豚の更新作業は、第一段階（F1）の豚を生産する所から数えて3回の交配が必要な取り組みとなるため、他からF1の豚を購入してスタートするよりも1年ほど期間が長くかかります。言い換えればその期間分、実際にお肉として出荷する豚の生産（販売できる豚が出来上がる）が遅れるという事です。それでも、自信を持って届けられる美味しい豚肉を安定的に出荷したいという想いから、敢えて手間のかかる原種からのスタートを岩瀬さんをはじめ、牧場スタッフや出向職員が一丸となって進めてきました。

■貴重な豚肉を今後も頂くために

これだけ手間も時間もかかって生産される「岩瀬さんの豚」、お肉はもちろんですが背脂（ラード）や内臓（モツ）まで生協で無駄にすることなく頂くことが、生産者の想いに応える何よりの恩返しになるのではない

かと思えます。これだけの苦勞があつて初めて実現する岩瀬さんの豚、そのお肉を頂ける事は非常に貴重な事だと思います。安定生産に向け、生産現場も苦勞と努力を重ねながら前進しています。私たち消費者は、その想いを商品の利用という形で支えてゆくことが必要です。今後も岩瀬さんの豚肉をはじめ、背脂や内臓についても引き続き利用の結集をお願いします。また、生協としてもその価値を改めて評価し、今後価格の見直しについても検討していく予定です。

◆特別な豚さんのモツをみんなでいただきますよ!!

今回お届けする「岩瀬さんの豚モツ」、役職員による事前の試食でも臭みがなく美味しいと大好評でした。発酵食品を食べて、ストレスの少ない環境で健康的に育った岩瀬さんの豚の内臓をぜひご賞味ください!



★注文番号 405025 番 岩瀬さん
の豚モツ 500g 今回おためし価格 540円 (税込)
※今回限定 70P での企画になります。ご了承ください。

大瀧研究室にカンパのご協力を! 脱原発と暮らし見直し委員会

昨年8月、「脱原発ネットワーク茨城」のメーリングリストに、詩人の多喜百合子さんが初めて投稿されたメールにより、私たち脱原発と暮らし見直し委員会は、野原千代さんのお名前と業績を知りました。

福島第一原発事故直後、琉球大学大学院の大瀧研究室の大瀧丈二教授と大学院生の皆さんが取り組み始めたのは放射能による被害を明らかにする研究で、対象は放射能の影響が出やすい蝶 ヤマトシジミ でした。社会人院生だった野原さんは、何度も福島に通って蝶を採取。1か月で世代交代するヤマトシジミと食草(えさ-カタバミ)との関係性など観察を続けました。その結果見えてきた被ばくの影響について、2014年に発表した論文は世界中で注目され、ジュネーブでも講演会が開かれました。けれども約1年後、野原さんは急性心不全で他界されました。



野原 千代さん

反原発詩人として、世界的に知られる多喜百合子さんは、野原さんの生き方に深く感銘を受け、日本語と英語で散文詩「千代さんの遺言」を発表されたのです。その感動は脱原発委員の間にも広がりました。委員会では野原さんのご遺族やお知り合いの方々から情報を集め、パンフレット「千代さんの遺言-野原千代さんを忘れない」を作りました。

もう既に、お読みいただけたでしょうか。ヤマトシジミ研究は千代さん亡き後もこの大瀧研究室によって続けられています。これからも10年20年と続けなければならない研究ですが、国から研究費は支給されておらず、千代さんのご主人順治さん個人が支えています。

私たちは千代さんの業績と真摯な生き方を、記憶し伝えていきたいと考えています。またこの研究を継続している琉球大学の研究室を、わずかでも支援したいと願っています。国立大学ですから、寄付をするための手続きは複雑です。常総生協として寄付を募り、一括で届けることを提案します。皆で心を寄せ合い、野原さんご夫妻の命がけの夢を支える手に、そして大瀧研究室の背中を押す手に、加わりませんか。

大瀧研究室へカンパは、注文番号: **500253 1口500円で6月2回~受け付けています。**

野原千代さんを忘れない。冊子「千代さんの遺言」を作りました。

是非、お手にとって読んでください!!

脱原発と暮らし見直し委員会

5冊150円(税込)にて販売しています。注文用紙ご意見欄もしくはホームページ組合

員専用お問い合わせにてお申込み下さい!(^^)!. 毎週、いつでも受け付けています。



常総生協

春の商品試食説明会



開催のお知らせ

供給している基礎商品を中心とした試食、説明会を開催します。

利用の仕方や、今後新たに取り組んでいく事もお話させていただきたいと思います。日頃利用して分からない事、疑問に思う事など何でも気軽に話し合しましょう。



お子様連れでも結構です。加入して間もない方、いまいち生協利用になれない方、常総生協を知りたい方など、ぜひご参加ください。組合員さんでない方のご参加も大歓迎です。

【開催要項】

○日時：6月22日（金）10：00～12：00

○場所：常総生活協同組合 2F 組合員活動室（守谷市本町 281）

持ち物：筆記用具

参加費：200円（資料代として）

内容：①常総生協基礎商品の試食と活用法のご案内

②新商品のご紹介

③生協活用の提案

お問い合わせ＆申し込み方法：

0297-48-4911（9：00-18：00） 担当：試食説明会チーム

WEBフォーム（<https://goo.gl/forms/EW7oR4h44xUDSQRj1>）



↑上記のQRコードからも申し込み出来ます。

キリトリ

6/22（金）春の試食説明会に参加します。

※切日 6/15（金）

組合員番号： _____ お名前： _____

参加者の人数： 大人 _____ 名 子ども _____ 名

生協の好きな商品をご記入ください。 _____